



# 實性

平成二十九年 第三号 お盆号発行

## お盆回向のご案内

仏教の行事の中で、一番親しまれているのが「お盆」ではないでしょうか。普段は離れて暮らす家族や親類が集まる良い機会ともなっています。

「お盆」の起源は「盂蘭盆(うらぼん)経(きょう)」という経典に収められています。

お釈迦様の弟子・目連尊者の母が飢餓道に堕ちていられるのを救う方法をお釈迦様に尋ねたところ、「僧たちが夏の修行(夏安居)が終える八月(七月)十六日に、食べ物や飲み物を献じれば、その功德により、汝の母を救うことが出来よう」と説かれました。これに基づき、日本では八月(七月)にご先祖様の供養の行事として行われるようになりました。

「お盆」には、今は亡きご先祖様を極楽浄土よりお家にお迎えし、真心をもってご供養いたします。父・母をはじめ多くの方々の命のつながりがあったこそ、今、私達の命があります。生かされているという感謝の気持ちを伝えることでもあるのです。今一度そのことを思い、ご先祖様への尊い真心を自身のみならず、次の世代にもつないでいく大切な意味がこめられております。

私達が亡き方々を思うように、亡き方々もまた、私達を極楽浄

土から見守ってくださっています。この「お盆」を通じて阿弥陀様との御縁をもちましょう。

七月十六日(日)、八月十三日(日)に盂蘭盆会法要が厳修されます。お誘い合わせのうえ、ご家族でご参加賜りますようお願い申し上げます。

## 七月お盆法要

七月十六日(日)

午後一時三十分

## 八月お盆法要

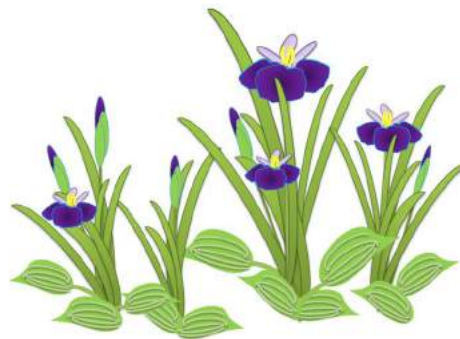
八月十三日(日)

第一回 午前十時

第二回 午前十一時三十分

第三回 午後一時三十分

お盆法要のお塔婆はお早めにお申込み下さい。



★八月お盆法要のご案内は改めてご案内申し上げます。

## お施餓鬼会ご報告

五月二十七日（毎年第四土曜日）好天のもと「施餓鬼会」が厳修されました。

ご参加いただいた檀信徒は二百四十名様にのぼりました。総代様、婦人部、暁月会、茶道部、職方のお手伝いご奉仕をいただきました。早朝からのご協力ありがとうございました。毎年法要前に、余興・柳家我大樓師匠、ご法話・田丸英春上人にお願しておりますが、十数年になります。中食（おとき）を召し上がっていただきましたが、本年より、赤飯煮物の手配が困難となり、出来合いのお弁当になってしまいました。これも時代の流れかと思えます。楽しみにしていただいた方には申し訳ありませんでした。

法要では、近隣の御住職、大本山増上寺雅楽会の上人、総勢十五名の方々により厳かに営われました。

法要最後に「払子（ほつす）」についてお話ししました。導師が持つ仏具ですが、この「払子」は昨年チベットに仏教交流に参った折、買い求めた「ヤク」という動物（牛）の毛でできています。

チベットは四千メートルの高地のため大変寒く、春夏になると蚊・蠅が多く発生し、それらを払うのに「ヤク」の毛で追い払うのに使われましたが、仏教と共に日本に伝わり、邪気を払いその場を清め、又、仏教では殺生が許されていないために、僧侶の持ち物として法要の初めと終わりに用います。

本年度のお供物は、十二色のマーカーペンでした。そして、新亡のお家の方々には、生花一对、お子様用「グリコ」の菓子詰め合わせをご提供いただきました。

平成三十年度お施餓鬼会は、五月二十六日（土）でございます。



払子





## 七夕・蓮見の会

会費等ございません

今年も境内に蓮の花が咲きます。「蓮見の会」を開催いたしますので、お檀家様以外の方もお誘い合わせのうえご参加下さい。茶室にてお抹茶をお出しします。

七月七日の七夕に合わせ、本堂前に大笹を設置してごさいます。短冊、筆ペン等が置いてございますので、ご自由に願い事をお書きいただき笹に下げてください。七夕の笹は、六月二十日頃より設置しております。この七夕は、小中学生にも好評で、毎年短冊がいっぱいになります。

● 蓮見の会Ⅱ 七月八日(土) 午前九時～午後一時まで



境内の花



山吹 (白)



都忘れ



大山蓮華



利休梅

大手毬



鳴子蘭



☆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確です。ご利用下さい。

ファックス番号 03 (3883) 3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八  
電話 03 (3883) 8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jishoji.com>